

国際共同研究 中間報告（課題番号：2019W-01）

課題名：最新流砂観測技術の世界展開

研究代表者：Francesco Comiti

所属機関名：Free University of Bozen-Bolzano

所内担当者名：藤田 正治

研究期間：平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 3 年 3 月 31 日

研究場所：穂高砂防観測所，インドネシア，ネパール

共同研究参加者数：8 名（所外 6 名，所内 2 名）

- ・大学院生の参加状況：5 名（修士 4 名，博士 1 名）（内数）
- ・大学院生の参加形態 [ワークショップでの研究発表]

平成 31 年度 実施状況

研究分担者である堤（三重大学），Laronne（Ben-Gurion University of Negev），宮田の流砂観測技術と他の研究分担者のそれぞれの地域での課題を共有することを目的として 2019 年 10 月 17-19 日に三重大学において国際ワークショップを開催した。また，ネパールとの合同ワークショップを宇治川オープンラボラトリーにて 2019 年 10 月 21 日に開催し，ネパールでの流砂観測について議論した。

令和 2 年度 実施計画

インドネシア，ネパールにおける土砂移動観測技術の導入を推進することを目的とし，2020 年 6 月にインドネシア・ガジャマダ大学でワークショップを開催し，現地巡検を行う。これに前後した日程において流域での土砂動態に関する集中講義を分担研究者の Laronne が実施する。またネパール・スンコシ川での流砂観測技術の導入を目的として現地での検討会を開催する。以上は新型コロナウイルスによる問題発生前の計画であり，現地でのワークショップ開催等を実行できない可能性がある。その場合はオンライン会議などで代替する。